

●**栗原 厚さん** (千葉県建一般労働組合)

◎「心丈夫な組合活動」を運動の軸に「仲間をひとりにはしない、誰も取り残さない」組合活動に取り組んできた。◎建設アスベスト訴訟は13年にわたる闘いを勝ち抜き、国からの謝罪と補償を勝ち取り国からの給付が始まった。製造企業の責任を認めさせ被害者への謝罪と補償基金制度に加わることを求める。

●**小山 真樹さん** (千葉県生活と健康を守る会連合会)

◎生活相談会や無料塾、自主申告会等に取り組んでいる。申告し住民税均等割非課税世帯として「臨時特別給付金」の対象になった会員もいる。◎2018年3月末以前の保護決定の生活保護世帯のエアコン設置では流山市に次いで柏市で実現。◎5月「生活保護基準引き下げ違憲訴訟」熊本地裁判決勝訴。

●**森吉 秀樹さん** (農民運動千葉県連合会)

◎エサや肥料の高騰の上昇の一方で、農産物価格は下落、燃料の高騰、資材の値上げが農業経営を圧迫している。こうした中で生産者、産直センター等と協力し、生活困窮者への食料支援にも取り組んでいる。～国・自治体が余剰米を買い上げ生活困窮者支援を行うことを求める。

●**浦 真実さん** (社会保障推進千葉市協議会)

◎「子ども医療費薬局窓口負担の中止を求める」署名に取り組んでいる。◎「75歳以上医療費窓口2割化反対」の横断幕を作成。加盟団体での宣伝等で活用している。◎幹事会は基本的にオンラインで行うことに。

●**武田 清春さん** (社会保障推進銚子市協議会)

◎これまで千葉市内で開かれる幹事会等への出席は遠方の銚子からは困難だったが、リモートで13回全ての幹事会と中央や県の学習会に参加した。◎市国保運営協議会委員の公募制の実現、市長懇談会開催等。

●**生駒 敦史さん** (社会保障推進流山市協議会)

◎「新しいのち署名」「75歳以上医療費2割化中止」等の宣伝行動、市議会陳情、国会請願、極力リアル参加で声を届けてきた。◎キャラバン懇談実施。◎「加齢性難聴の補聴器購入補助」を求める署名スタート。

●**関 智子さん** (社会保障推進松戸市協議会)

◎「一致点」と「学ぶ」を大切に活動。◎東葛6市の派遣村実行委員会で12/23「第15回労働・生活なんでも相談会in松戸」開催。◎松戸市福祉医療センター東松戸病院・梨花苑の存続を求める活動。等

●**田中なつみさん** (社会保障推進我孫子市協議会)

◎7/16コロナ・医療費・補聴器補助・貧困対策で市長宛要望書◎12/22社保キャラバン項目を絞って懇談。◎4月・5月～我孫子駅南口にて「75歳以上医療費窓口2割化中止求める」署名・宣伝行動。他

●**新山 晴美さん** (社会保障推進柏市協議会)

◎太田市長誕生で様々変化が生まれた。～自校方式給食維持、市立病院現地建て替え、コミュニティバス等◎難聴者～ヒアリンググループ改善が必要。◎個人請願の市の回答を分析し今後の取組みに活かすことが課題。

●**根本 敦子さん** (社会保障推進白井市協議会)

◎高齢者の生活の質の向上のため、補聴器が必要と、加齢性難聴問題を学習し、「加齢性難聴補聴器補助」署名に取り組んでいる。250軒程の地域訪問で1～2時間で90筆の署名。対話することで要求の多さを実感。

●**市川 寿子さん** (社会保障推進習志野市協議会)

◎社保キャラバンは事前学習を行い、懇談に臨んだ。◎「難聴者補聴器助成」「生活相談活動」を重視したい。

●**實川 理さん** (日本自治体職員労働組合千葉県本部)

◎2019年の災害対応、2020年からの感染症パンデミック～最前線で奮闘する自治体職員の実態から声をあげ、処遇改善を図る自治労連の存在意義が明確に。◎「行政のデジタル化」は地方自治の形骸化を招くもの。

●**鈴木 英雄さん** (千葉県社保協国保部会)

◎県の「国保運営方針」で、今年「平均標準保険料」について54市町村の内45市町での引き上げを提示している。「法定外繰入」実施自治体・予算規模は縮小してきている。自治体は国保料(税)の引き下げや44条や77条減免を適切に実施していくことが必要。国保は憲法が定めた地方自治、住民自治の根幹をなす制度であり、自治体として、加入者のくらしと働き方、いのちと健康の実態を十分に把握し、問題解決のために取り組むことが求められる。改善を求める地域からの取組みがいっそう重要だ。

第49回中央社会保障学校 From 千葉 ※千葉県文化センター～オンライン **2日目** 9月18日(日) 9:30～16:00

1日目 9月17日(土) 13:00～16:30

講演/ 安全保障と国民生活～脱新自由主義めざして

明海大経済学部准教授 宮崎礼二氏

特別報告/ コロナ禍で浮き彫りになった矛盾

社会保障運動入門講座/ 神戸大学准教授 井口 克郎氏

昼休み -DVD上映- 安房文化遺産フォーラムのとりくみ

シンポジウム/ 届けよう現場・地域の声 広げよう運動を

コーディネーター 佛光大学准教授 長友薫輝氏